公益財団法人神奈川県スポーツ協会　沿革

年　月　日	事　　項
昭和	
14．10．16	神奈川県体育協会創立
	会長　飯沼　一省（知事）
	事務所を県社会教育課内に置く
11．3	横浜公園にて発会式挙行
18．5．9	大日本体育会の名称変更に伴い、財団法人大日本体育会神奈川県支部と改称
21．1．23	大日本体育会の寄附行為が改正される
1．	県知事 内山 岩太郎氏会長に就任(神奈川県体育協会へと改組)
23．11　13	大日本体育会が日本体育会へと改称
24．8．29	体育協会の所管課が衛生部健民課に移る
10．	役員改選が行われる
	会　長　内山岩太郎
	副会長　石河 京市、久野 元治、添田 良信、村山 午朔、中村 新一
	理事長　佐藤秀三郎
	加盟団体　競技団体２６、地域団体８、職域団体６　計４０団体
10．	第４回国民体育大会秋季大会が、東京他４県で行われる
	バレーボール、体操、ヨットが本県会場となる
25．6．18	第１回神奈川県総合体育大会が行われる(郡市対抗陸上競技大会)
26．3．18	健民祭を挙行し、体育功労者の表彰を行う
9．3	県議会において「国民体育大会神奈川県招致希望」の決議をする
10．5	内山会長名をもって第９回国民体育大会神奈川県開催を、正式に日本体育協会に申請する
27．5．14	日本体育協会国内常任委員会において第９回国体は、第１候補北海道、第２候補神奈川県と決定する
28．2．28	「第１０回国民体育大会神奈川県準備委員会」を設置し、国体誘致運動を展開する
8．10	日本体育協会は、第１０回国民体育大会を神奈川県で開催することに決定
29．1．28	「第１０回国民体育大会神奈川県後援会」を結成し、会長に半井 清氏就任
30．9．22	第１０回国民体育大会夏季大会
	水泳（鎌倉）、ヨット（葉山）、漕艇（相模湖）が行われた
10．27	「神奈川スポーツ旗」を制定する　　デザインは宮永 岳彦氏（日本宣伝美術協会委員）
10．30	第１０回国民体育大会秋季大会が、横浜市を中心に２７種目が行われる
31．3．31	加盟団体　競技団体３２、地域団体１７、職域団体４　計 ５３団体
10．1	県の機構改革に伴い、保健体育課が体育協会の所管課となる
34．5．26	第１８回オリンピック大会の東京開催が正式に決定
7．1	「オリンピック東京大会」選手育成強化委員会発足
	オリンピックヨット会場を江の島に正式決定
36．11．30	オリンピック東京大会神奈川県準備委員会発足
37．5．9	役員改選の結果
	会　長　内山岩太郎（留任）
	副会長　添田 良信、谷川 武、鈴木 重信、佐藤秀三郎 （以上留任）、山口 久像（新任）
	監　事　黒崎 謙一 （留任）、曽我 尚人（新任）
	理事長　保坂 周助（留任）
6．10	文部次官より、児童・生徒の学生対外運動競技基準の通達があった
10．19	オリンピックヨット選手村が大磯ロングビーチに正式決定
11．12	オリンピックカヌー会場が相模湖に決定
38．5．25	神奈川県スポーツ少年団本部設置承認
6．1	オリンピック課新設
	課　長　稲垣 直太氏
7．1	オリンピック東京大会神奈川分室を設置
	室　長　保坂 周助氏

年　月　日	事　　項
39．　1．26	第１９回国民体育大会スケート競技会が箱根において開催される　（ ～29 ）
2．23	スポーツ少年団発会式を挙行
	本 部 長　保坂 周助
	副本部長　馬飼野正治、鈴木 辰雄
	常任委員　細田 太郎　以下14名を決定する
10．10	オリンピック東京大会開催　（ ～29 ）
	ヨット大磯選手村村長　　馬飼野正治
	カヌー相模湖選手村村長 松原　五一
40．　4．30	役員改選の結果
	会　長　　内山岩太郎
	副会長　　添田 良信、谷川 武、菅井栄一郎、佐藤秀三郎、保坂 周助、山口 久像
	理事長　　馬飼野正治
	監　事　　佐々木仁一、曽我 尚夫
9．　2	加盟団体幹部講習会（相模湖）で開催される　（ ～３ ）
41．　3．　3	規約第２６条の規定に基づき「競技力向上委員会」を設置
	委員長　　若崎 重富理事
3．31	空手道、なぎなた連盟の加盟を承認
9．16	副会長　　谷川 武氏 逝去
42．　1．20	顧　問　　村山 午朔氏 逝去
3．25	加盟団体幹部講習会を開催　（ドリームランド）
3．31	スポーツ少年団登録は　１０３団体、２，２４０名となる
5．27	役員改選の結果
	会　長　　内山岩太郎
	副会長　　添田 良信、菅井栄一郎、佐藤秀三郎、山口 久像、保坂 周助
	理事長　　馬飼野正治
	監　事　　鴇田 像一、曽我 尚夫
6．　7	菅井副会長退任、曽山 皓氏後任として就任
43．　1．20	オリンピック東京大会開催記念として県立スポーツ会館が建設され、体育協会事務局及び加盟団体の運動練習場を設置
3．29	アーチェリー協会の加盟を承認
45．12．　6	「財団法人神奈川県体育協会」設立　許可申請書を県教育委員会に提出
46．　2．　4	財団法人 神奈川県体育協会 認可
2．15	同じく登記完了　資産総額　８，４８５，４３６円
3．　6	神奈川県スポーツ人の集いを兼ねて、財団法人神奈川県体育協会の設立総会を開催、賛助会員制度も施行
4．　1	スポーツ安全協会傷害保険制度の制定に伴い、その事務を体育協会が執行
10．16	国体出場神奈川県選手団結団式に「国体選手を送る夕べ」を新設
10．	曽山副会長退任、武田 英治氏後任として就任
11．19	会長 内山 岩太郎氏 逝去
47．　1．13	神奈川県知事 津田 文吾氏会長に就任
4．	専門委員会として、総務委員会、普及委員会、競技力向上委員会の３委員会とスポーツ少年団本部を設置
4．	県立高校開放指定校を設置し、３８校のスポーツ施設を地域住民のため開設
48．　6．　1	日本体育協会公認スポーツ指導員により神奈川県スポーツ指導員会が発足
49．　2．　1	県内財界の団体責任者１６名により「顧問の会」発足
4．　6	役員改選の結果　（４９・５０年度）
	会　　長　津田 文吾
	副 会 長　添田 良信、佐藤秀三郎、山口 久像、保坂 周助、武田 英治
	専務理事　馬飼野正治
	監　　事　敦賀 三嗣、曽我 尚夫、安藤 辰三
8．　1	監事 曽我 尚夫氏 逝去　　事務局長 田中 清氏退任、後任は専務理事兼務
8．17	田辺 政吉氏 監事に就任
50．　4．　1	広報委員会発足

年　月　日	事　　項
6．6	津田 文吾会長退任、長洲 一二知事 会長に就任
	財務委員会発足
	武田 英治副会長退任　八木 敏行氏就任、敦賀 三嗣監事退任　水島 秀雄氏就任
10．14	丹沢山荘管理委員会委員長 尾関 廣氏 逝去に伴い、後任に佐藤 秀三郎副会長を選任
51．2．28	神奈川県ボウリング連盟の加盟と神奈川県スキューバ・ダイビング協会の仮加盟を承認
3．	全国都道府県体育協会連絡協議会が発足し、本県が監事県となる　代表 保坂 周助
3．31	５１年度加盟団体会費が一律２倍に改訂　総額は ２３６万円
4．1	国民体育大会県予選会兼県民体育大会実施が決定
4．24	神奈川県アイスホッケー連盟の加盟を承認
	役員改選の結果　（５１・５２年度）
	会　長　長洲 一二
	副 会 長　添田 良信、佐藤 秀三郎、山口 久像、保坂 周助、八木 敏行
	専務理事　馬飼野正治
	監　事　水島 秀雄、安藤 辰三 （以上留任）、橋本 阿揆（新任）
5．10	専門委員の決定と委員長の選任
	総務委員会委員長　鈴木　辰雄
	普及委員会委員長　朝倉　政之
	競技力向上委員会委員長　若崎　重富
	広報委員会委員長　細田　太郎
	財務委員会委員長　又木誠八郎
	スポーツ少年団委員会本部長　馬飼野正治　（ 以上留任 ）
8．1	スポーツ少年団西独同時交流開始　（ ～7 ）
11．16	ゴルファー募金開始
11．21	スポーツ振興基金協賛募金開始
52．4．	青少年スポーツ巡回指導開始
53．5．2	役員改選の結果　（５３・５４年度）
	会　長　長洲 一二（留任）
	副 会 長　保坂 周助（留任）、穴水 清彦（新任）、八木 敏行（留任）
	専務理事　馬飼野正治（留任）
	監　事　水島 秀雄 （留任）、安藤 辰三（留任）、橋本 阿揆 （留任）
5．25	専門委員の決定と委員長の選任
	総務委員会委員長　船田　幸一
	財務委員会委員長　加藤　　明
	競技力向上委員会委員長　若崎　重富
	普及委員会委員長　谷口　恭男
	広報委員会委員長　下嶋　長夫
	スポーツ少年団委員会本部長　馬飼野正治
	ゴルファー募金運営委員会委員長　保坂　周助
5．25	特別委員会設置
	体育協会会館建設委員会
	国体選手強化対策委員会
6．20	「国体の歩み」発刊
7．28	第１回スポーツマンゴルフ大会開催　（年３回）
54．4．1	神奈川県スポーツレクリエーション傷害共済制度発足
4．18	競技力向上ジュニア強化対策事業開始
5．11	第３５回国民体育大会関東地区大会準備委員会スタート
6．23	関東地区体育協会会長会議が埼玉県で開かれ、第３５回国体関東地区大会を神奈川県で開催することが正式に決定した
7．14	副会長 八木 敏行氏退任に伴い、後任として阿部 治夫氏就任
	監事に横山　嶽氏就任　参与に大竹 達雄氏就任
8．18	第１回スポーツ少年団軟式野球大会が愛知県で開催　（ ～23 ）

年　月　日	事　　項
9．29	副会長 穴水 清彦氏 逝去
11．16	オーストラリアとの交流事業のため、庭球協会 田村 義男評議員が訪豪した （ ～28 ）
12．19	穴水 清彦副会長の後任として上野 豊氏を決定　５５．３．２９就任
12．22	第３５回国体関東地区大会第１回実行委員会開催
55．4．25	同上事務局開設
5．17	役員改選の結果　（５５・５６年度）
	会　長　長洲 一二（留任）
	副 会 長　保坂 周助（留任）、上野 豊（留任）、阿部 治夫（留任）
	専務理事　馬飼野 正治（留任）
	監　事　横山　　嶽（留任）、安藤 辰三（留任）、橋本 阿揆（留任）
7．12	第３５回関東地区大会山岳競技が丹沢山塊で行われた（ ～13 ）
7．22	専門委員の決定と委員長の選任
	総務委員会委員長　船田　幸一
	財務委員会委員長　加藤　　明
	競技力向上委員会委員長　若崎　重富
	普及委員会委員長　鴻池　宗男
	広報委員会委員長　山田　眞司
	スポーツ少年団委員会本部長　馬飼野正治
	ゴルファー募金運営委員会委員長　保坂　周助
	特別委員会
	体育協会会館建設委員会委員長　馬飼野正治
	国体選手強化対策委員会委員長　松沢　賢吉
8．9	第３５回関東地区大会水泳(水球)競技が、慶応義塾大学日吉プールで行われた （ ～10 ）
8．17	第３５回関東地区大会漕艇競技が、相模湖漕艇場で行われた
8．28	第３５回国体関東地区大会の２１競技が県下７市を会場として開催 （ ～31 ）
8．31	スウエーデンとの交流事業のため、スケート連盟 山崎 善也理事長が訪瑞 （ ～9.12 ）
10．12	第３５回国民体育大会秋季大会が栃木県で開催 （ ～17 ）
	天皇杯順位 ３位、皇后杯順位 ６位
11．20	第１回全国体育協会連絡協議会事務局長研修会開催 （ ～22 ）
11．22	第３５回国体の解団式が、祝勝会を兼ねて県社会福祉会館で挙行
56．7．22	日独スポーツ少年団同時交流開始
8．1	全国高校総体本県を主会場として開幕
9．30	スポーツ医学専門委員会が発足
10．13	第３６回国民体育大会秋季大会が滋賀県で開催 （ ～18 ）
	天皇杯順位 ６位、皇后杯順位 ８位
11．19	第３６回国体の解団式を挙行
57．3．6	スポーツ医学講座開始、少年指導層を対象に県政総合センターで開催
4．28	競技団体理事長会開催
5．22	第１回理事会開催　５７・５８年度役員選出と寄附行為第４章第２０条の理事「２０人以上２６人以内」を「２６人以上３３人以内」と改正
	役員改選の結果　（５７・５８年度）
	会　長　長洲 一二（留任）
	副 会 長　保坂 周助（留任）、上野　　豊（留任）、阿部 治夫（留任）
	専務理事　馬飼野正治（留任）
	監　事　橋本 阿揆（留任）、安藤 辰三（留任）、斉藤 隆寿（新任）
6．24	第２回理事会において各種委員会担当理事と委員長を決定、委員長は次のとおり
	総務委員会委員長　船田　幸一
	財務委員会委員長　加藤　　明
	競技力向上委員会委員長　若崎　重富
	県民スポーツ委員会委員長　鴻池　宗男

年　月　日	事　　項
	広報委員会委員長　竹内　吉治
	スポーツ少年団委員会本部長　添田　高明
	スポーツ医学専門委員会委員長　内野　欽司
	ゴルファー募金運営委員会委員長　西野　譲介
	体育協会会館建設委員会委員長　斎藤　達也
6．24	第２回理事会においてスポーツ傷害共済制度運営委員会設置
8．4	第１回関東地区スポーツ少年団種目別交流大会を開催　（ ～6 ）
10．3	第３７回国民体育大会秋季大会が島根県松江市を中心会場として開催　（ ～8 ）
	天皇杯順位　５位、皇后杯順位　５位
10．28	昭和５７年度関東地区体育協会会長会議を箱根で開催、関東陸協会長より陸上競技を関東地区国体の正式競技に採用されたく要請が行われた　（ ～29 ）
11．15	第３７回国体の解団式を挙行　８競技　４０名の優勝者を表彰
58．2．17	副会長 保坂 周助氏 逝去
3．10	日本スポーツ少年団創立２０周年記念表彰を受賞
	指導者　一柳 和夫、片岡 次夫、石山 昭夫、室伏 重信、飯塚 栄一、松田 宏
	単位団　三ヶ丘スポーツ少年団、篠原つばめサッカースポーツ少年団
3．26	第４回理事会を開催し、保坂副会長の後任として馬飼野 正治専務理事を副会長に選任
5．3	若崎競技力向上委員会委員長及び木村事務局長が中国遼寧省体育総会を訪問、昭和５８年～昭和６３年の６ヵ年間のスポーツ交流事業が成立　（ ～8 ）
6．1	阿部治夫副会長が退任、宮森 進副会長就任
8．15	中国遼寧省へ本県選手団を派遣　馬飼野団長以下２８名 瀋陽市及び大連市において２試合交流　（～２１）
	本部役員　６、バドミントン　１０、卓球　１２
10．15	第３８回国民体育大会秋季大会が群馬県で開催　（ ～２０ ）
	天皇杯順位　７位、皇后杯順位　７位
10．29	神奈川県スポーツ少年団創立２０周年記念式典を県立体育センターで挙行
	単位団　４３、指導者　９７を表彰
	個　人　１０、団　体　１６に感謝状を贈呈
11．12	第１回スポーツ関係臨床医神奈川県研修会を開催　（ ～１３ ）
11．22	第３８回国体の解団式を挙行　７競技　４４名の優勝者を表彰
59．3．31	寄附行為第４条(事業)一部改訂
4．1	神奈川県立スポーツ会館の管理運営並びに生涯スポーツ推進事業を受託
	若年層におけるスポーツ外傷・障害とその予防に関する研究事業開始
5．10	生涯スポーツリーダー養成事業開始
5．15	関東ブロック体育協会会長会議が千葉県で開催され、関東地区国体の総合大会方式を昭和６３年から実施が内定（ ～１６ ）
5．30	第１回理事会及び評議員会を開催、役員改選及び昭和７３年第５３回国体の本県招致を決議
	役員改選の結果　（５９・６０年度）
	会　長　長洲 一二（留任）
	副会長　上野　豊（留任）、宮森　進（留任）、馬飼野正治（留任）
	監　事　橋本 阿揆（留任）、斉藤 隆寿（留任）、中島 克己（新任）
6．13	第２回理事会を開催し、専務理事及び各種委員会担当理事委員長を選任
	専務理事　馬飼野正治
	総務委員会委員長　細田　太郎
	財務委員会委員長　加藤　明
	競技力向上委員会委員長　若崎　重富
	県民スポーツ委員会委員長　鴻池　宗男
	広報委員会委員長　山田　眞司
	スポーツ少年団委員会本部長　添田　高明
	スポーツ医学専門委員会委員長　内野　欽司
	ゴルファー募金運営委員会委員長　西野　譲介

年　月　日	事　　項
	体育協会会館建設委員会委員長　　斎藤　達也
	スポーツ傷害共済制度運営委員会委員長　　馬飼野正治
6．25	中国遼寧省スポーツ交流準備団 李 孝生氏ほか２名来県 （ ～27 ）
8．11	中国遼寧省よりスポーツ交流団来県 （ ～17 ）
	役員 ７、バレーボール女子 １１、サッカー １７
	８月１３日 藤沢市（県立体育センター）８月１５日 横浜市（三ツ沢競技場、平沼記念体育館）で対戦
10．12	第３９回国民体育大会秋季大会が奈良県で開催 （ ～17 ）
	天皇杯順位 ６位、皇后杯順位 １２位
11．28	第３９回国体の解団式を挙行　８競技 ５１名の優勝者を表彰
12．21	第４回理事会において、第５３回国民体育大会の誘致準備会設置について承認された　委員は次のとおり
	細田 太郎、若崎 重富、木村 軍治、田村 義男、鈴木 中、永田 豊、沢田 賢昭、笹生 登、碓井 進
	上田 徳昭、白井 清世、田中 宏
60．5．	宮森副会長が退任、後任に斉藤 荘之助氏が就任
5．15	関東地区体育協会会長並びに体育課主管課長会議において第５３回国民体育大会の本県誘致について同意を得た
8．12	中国遼寧省スポーツ交流選手団を派遣、川合団長以下３３名が瀋陽市及び大連において交流（ ～20 ）
	本部役員 ７、サッカー １９、柔道 ７
10．20	第４０回国民体育大会秋季大会が鳥取県で開催（ ～25 ）
	天皇杯順位 ７位、皇后杯順位 ９位
11．27	第４０回国体の解団式を挙行　７競技 ４９名の優勝者を表彰
12．10	スポーツ医事相談事業開始
61．4．	体力測定事業開始
4．24	神奈川県中学校体育連盟事務局が県立スポーツ会館内に設置された
5．7	日本体育協会スポーツ憲章が制定、施行される
5．30	第１回理事会及び評議員会を開催、役員改選の結果(６１・６２年度)
	会　長　長洲 一二（留任）
	副会長　上野 豊(留任)、齊藤 荘之助(新任)、馬飼野 正治（留任）
	監　事　橋本 阿揆（留任）、斉藤 隆寿（留任）、中島 克己（留任）
6．24	全国都道府県体育協会連合会が発足し、幹事長に馬飼野 正治副会長が就任した
7．6	第２回理事会において、若崎 重富理事が専務理事に選任された　９月１日着任
7．17	第１３回日独スポーツ少年団同時交流事業に５名派遣し、２２名を受け入れた
	派遣期間 (7.17～8.10)　受入期間 (8.5～8.9)
7．25	中国遼寧省スポーツ交流、遼寧省選手団来県 （ ～8.14 ）
	本部役員 ３、柔道 ４
8．19	日韓ジュニアスポーツ交流が韓国済州島にて開催され、馬飼野 正治副会長が団長として参加した （ ～25 ）
9．4	第３回理事会において各種委員会担当理事と委員長を決定、委員長は次のとおり
	総務委員会委員長　　谷口　恭男
	財務委員会委員長　　加藤　　明
	競技力向上委員会委員長　　上野　陽一
	県民スポーツ委員会委員長　　鴻池　宗男
	広報委員会委員長　　山田　眞司
	スポーツ少年団委員会本部長　　添田　高明
	スポーツ医学専門委員会委員長　　内野　欽司
	ゴルファー募金運営委員会委員長　　西野　譲介
	体育協会会館建設委員会委員長　　斉藤　達也
	スポーツ傷害共済制度運営委員会委員長　　馬飼野正治
9．20	第１０回アジア大会が韓国ソウルにて開催され、安斉 実理事が選手団長として、また、馬飼野正治副会長が視察団として参加した（ ～10.5 ）
10．12	第４１回国民体育大会秋季大会が山梨県で開催
	天皇杯順位 ４位、皇后杯順位 ８位
11．19	第４１回国体の解団式を挙行　１１競技 ４１名の優勝者を表彰

年　月　日	事　　項
11．13	東北ブロック体育協会会長並びに体育主管課長会議において第５３回国体の関東ブロック開催について承認
62．1．18	第１３回優良スポーツ少年団表彰式を挙行　８市 １７団表彰
2．4	東ブロック（関東、東北、北海道）のすべての体育協会長より第５３回国体の本県誘致に関する「同意書」を受領
2．4	「国体誘致準備会」を解散
4．25	県立尊仏山荘改築落成
5．19	第１回国体誘致委員会を開催し、会長に（財）神奈川県体育協会 長洲　一二会長を承認
5．21	関東地区体育協会連絡協議会が埼玉県で開催され、第４３回国体関東ブロック大会を神奈川県で開催することを確認
5．28	第４３回国体関東ブロック大会について実施競技団体代表者による第１回準備委員会を開催
6．6	スポーツ少年団の活動実態調査と活動プログラムに関する研究事業開始
6．23	県議会に第５３回国体の誘致を請願
7．6	第５３回国民体育大会夏・秋大会の本県開催を県議会に要望し、県議会において開催誘致を決議
7．9	第４３回国体関東ブロック大会について会場地市町代表者による第１回会場地市町打合会を開催
7．17	第１４回日独スポーツ少年団同時交流事業に５名派遣し、２０名を受入れた
	派遣期間　（7／１７～8／9）　受入期間　（8／5～8／9）
8．13	中国遼寧省スポーツ交流　選手団を派遣　（ ～19 ）
	若崎 重富団長以下１９名が瀋陽市及び大連市において交流　本部役員 ６名、バレーボール １３名
9．30	第４３回国体関東ブロック大会第１回県内実行委員会を開催し、新たに会場地に実行委員会を設置することが決定
10．22	県、県教育委員会に対し、第５３回国民体育大会夏・秋季大会開催誘致の「要望書」を提出
10．25	第４２回国民体育大会秋季大会が沖縄県で開催
	天皇杯順位 ７位、皇后杯順位 ７位
11．27	第４２回国体の解団式を挙行　９競技 ４５名の優勝者を表彰
63．1．8	県体育協会会長・県知事・県教育委員会の三者連名により、日本体育協会会長並びに文部大臣に対し、
	「第５３回国民体育大会夏・秋季大会開催要望書」を提出
2．14	第１４回優良スポーツ少年団及び第１回スポーツ少年団指導者表彰式を挙行
	７市 １５団体、１１市町 ２５名
2．29	第４３回国体関東ブロック大会第１回神奈川県実行委員会（設立総会）開催
3．4	日本体育協会国体委員会において、開催順序の申請について審議され、本県開催順序は第５３回と決定
3．9	日本体育協会理事会において、開催順序の申請について審議され、本県開催順序は第５３回と決定
3．17	第５３回国体誘致委員会総会を開催し、経過報告を行うとともに、誘致を完了し解散
4．1	第５３回国体準備室を開設
	第４３回国体関東ブロック大会神奈川県実行委員会事務局を（財）神奈川県体育協会内に設置
	丹沢山荘（尊仏山荘・蛭ヶ岳山荘）が県より無償譲渡
5．28	第１回理事会及び評議員会を開催　役員改選の結果（６３・６４年度）
	会　長　長洲 一二（留任）
	副会長　上野　豊（留任）、渋谷 正己（留任）、馬飼野正治（留任）
	監　事　橋本 阿揆（留任）、斉藤 隆寿（留任）、中島 克己（留任）
5．28	日本野球連盟神奈川県支部の加盟を承認
6．25	第２回理事会を開催し、専務理事及び各種担当理事委員長を選任
	専務理事　若崎 重富
	総務委員会委員長　細田 太郎
	財務委員会委員長　加藤　明
	競技力向上委員会委員長　上野 陽一
	県民スポーツ委員会委員長　鴻池 宗男
	広報委員会委員長　山田 眞司
	スポーツ少年団委員会本部長　添田 高明
	スポーツ医学専門委員会委員長　内野 欽司
	ゴルファー募金運営委員会委員長　西野 譲介
	体育協会会館建設委員会委員長　斎藤 達也
	スポーツ傷害共済制度運営委員会委員長　畠　政敏
6．27	第５３回国民体育大会神奈川県準備委員会の設立総会及び第１回総会を開催

年　月　日	事　　項
7．18	第１５回日独スポーツ少年団同時交流事業に３名派遣し、１４名を受入れた
	派遣期間(７/１８～８/１０)　受入期間（８/５～８/９）
8．11	第４３回国体関東ブロック大会都県代表者会議開催
7．22	第４３回国体関東ブロック大会開催　（ ～8.29 ）
	山岳(7/22～23）、ボウリング（7/23～24）、カヌー(7/24、8/9）、水球(8/6～7）、漕艇（8/13～14）
	その他の競技(8/26～29)
8．26	第４３回国体関東ブロック大会総合開会式　横浜観光船「マリーンシャトル」船上で開催
9．13	第５３回国民体育大会神奈川県準備委員会の各専門委員会を開催　（ ～22 ）
10．15	第４３回国民体育大会秋季大会が二巡目の第１回大会として京都府で開催　（ ～20 ）
	天皇杯順位　６位、皇后杯順位　６位
11．13	第１回全国スポーツ・レクリエーション祭が山梨県にて開催　（ ～18 ）
11．17	第４３回国体の解団式を挙行　１１競技　８３名の優勝者を表彰
11．19	文部大臣認定「社会体育指導者の知識技能審査事業」として、Ｃ級スポーツ指導員（地域スポーツ指導者）
	養成講習会を開催　（ ～3.12 ）　卓球　２５名、バドミントン　２２名
12．1	第５３回国民体育大会市町村会場地希望調査説明会を開催
12．18	城山町体育協会が設立
12．24	第４４回国体関東ブロック大会アイスホッケー競技会を神奈川体育館で開催　（ ～25 ）
64．1．7	昭和天皇崩御
平成	
1．1．8	新元号「平成」となる
2．16	第４３回国体関東ブロック大会実行委員会を開催し、実施事業の報告と決算が承認され、２回目の担当事業が終了した
2．20	「国体友情募金」取扱開始
4．	「国体選手健康診断事業」開始
	「町村体協活動奨励事業」開始
	「スポーツ少年団育成事業」開始
7．20	中国遼寧省指導者来県　（ ～26 ）
8．12	関東ブロックスポーツ指導者協議会を開催　江の島県立婦人総合センター　（ ～13 ）
8．17	第２０回関東ブロックスポーツ少年大会を開催　三浦臨海青少年センター　（ ～19 ）
9．17	第４４回国民体育大会秋季大会が北海道札幌市等で開催（ ～22 ）
	天皇杯順位　３位、皇后杯順位　６位
10．24	第４４回国体の解団式を挙行　１４競技　５４名の優勝者を表彰
11．10	創立５０周年記念式典及び祝賀会を開催　（県民ホール）
	功労者表彰　５６２名　感謝状贈呈　６８名　２０３団体
2．1．27	藤野町体育協会が設立
3．29	第５３回国民体育大会準備委員会において、第５３回国体開催基本方針並びに競技別会場地が内定
3．31	第３回理事会・第２回評議員会を開催し、県ゲートボール連合、県少林寺拳法連盟の加盟を承認
	神奈川県スポーツレクリエーション傷害共済制度を発展的に解消
	「神奈川県体育協会史」を発刊
	「少年スポーツ指導安全対策マニュアル」スポーツを楽しくするためにを発行
4．1	相模湖町体育協会が設立　これに伴い県下全市町村に体育協会が設立された
4．20	チョゴリ峰登山隊壮行会挙行　遠征期間　４．２６～９月
5．26	第１回理事会、評議員会を開催し、役員改選を行った(平成２・３年度)
	会　長　長洲 一二（留任）
	副会長　上野 豊（留任）、渋谷 正己（留任）、馬飼野正治（留任）
	監　事　橋本 阿揆（留任）、斉藤 隆寿（留任）、中島 克己（留任）
7．5	第２回理事会を開催し、スポーツ安全保険運営委員会設置
	専務理事　若崎　重富
	総務委員会委員長　工藤喜代廣
	財務委員会委員長　加藤　明
	競技力向上委員会委員長　上野　陽一

年　月　日	事　　項
	県民スポーツ委員会委員長　　鴻池　宗男
	広報委員会委員長　　平川　義美
	スポーツ少年団委員会本部長　　添田　高明
	スポーツ医学専門委員会委員長　　内野　欽司
	ゴルファー募金運営委員会委員長　　西野　譲介
	体育協会会館建設委員会委員長　　斎藤　達也
	スポーツ安全保険運営委員会委員長　　金子　満男
８．　１	第９回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会を開催　（ ～3 ）
	藤沢市、鎌倉市、逗子市
１０．１２	第４５回国民体育大会秋季大会が福岡県で開催　（ ～17 ）
	天皇杯順位　８位、皇后杯順位　１０位
１１．１５	関東地区体育主管課長会議並びに体育協会会長連絡会議を本県で開催　（ ～16 ）
１１．２７	第４５回国体の解団式を挙行　８競技、５０名の優勝者を表彰
３．　３．３０	第４回理事会・第２回評議員会を開催し、県パワーリフティング協会の加盟を承認
７．１８	神奈川県・中国遼寧省スポーツ交流選手団（バドミントン）来県　（ ～25 ）
７．２６	神奈川県生涯スポーツ振興会議設立　会長 馬飼野 正治副会長
１０．１２	第４６回国民体育大会秋季大会が石川県で開催　（ ～17 ）
	天皇杯順位　７位、皇后杯順位　８位
１２．１７	市町村アマチュアゴルフ協会　１８協会で神奈川県ゴルフ協会を設立
４．　３．２８	第３回理事会、第２回評議員会を開催し、武術太極拳連盟の仮加盟を承認
５．３０	第１回理事会、評議員会を開催し、役員改選を行った(平成４・５年度)
	会　長　長洲 一二（留任）
	副会長　上野　豊(留任)、渥美 精一(新任)、馬飼野正治（留任）
	監　事　中島 克己(留任)、富永 義信(新任)、中山 二郎(新任)
６．１８	第２回理事会を開催し、専務理事及び各委員会担当理事を決定した　委員長は次のとおり
	専務理事　　若崎 重富
	総務委員会委員長　　工藤喜代廣
	財務委員会委員長　　加藤　明
	競技力向上委員会委員長　　上野　陽一
	県民スポーツ委員会委員長　　鴻池　宗男
	広報委員会委員長　　作間　牧夫
	スポーツ医学専門委員会委員長　　内野　欽司
	スポーツ少年団委員会本部長　　添田　高明
	ゴルファー募金運営委員会委員長　　西野　譲介
	体育協会会館建設委員会委員長　　斎藤　達也
６．２１	「’９２オリンピックデーラン／神奈川」を平塚市総合運動公園で開催した　役員及び参加者　１，０００名
８．１１	神奈川県・中国遼寧省スポーツ交流選手団（バレーボール）来県　（ ～17 ）
１０．　４	第４７回国民体育大会秋季大会が山形県で開催　（ ～9 ）
	天皇杯順位　１０位、皇后杯順位　１０位
１０．２８	都道府県体育協会連合会東地区事務局長研修会を開催　「ポートヒルヨコハマ」（ ～30 ）
５．　３．２７	第４回理事会、第２回評議員会を開催し、平成５年４月１日をもって、加盟地域団体区分を改訂し、寄附行為「郡体協」を「町村体協」に改めることについて承認された
	加盟団体数　競技団体　４６、地域団体　３７、学校体育団体　３　合計　８６団体
６．１２	「’９３オリンピックデーラン／神奈川」を平塚市総合運動公園で開催した　役員及び参加者　９５０名
７．　６	第５３回国民体育大会夏・秋季大会を神奈川県において開催することについて内定した
１０．２４	第４８回国民体育大会秋季大会が香川・徳島両県で開催　（ ～29 ）
	天皇杯順位　１２位、皇后杯順位　１１位
１１．　５	第４８回国体の解団式を挙行　５競技　４８名の優勝者を表彰
１２．　５	スポーツ少年団創立３０周年記念式典及び祝賀会を実施した　式典 県民ホール（小ホール）　祝賀会 老松会館
６．　１．２３	「エンジョイスポーツセミナー」を県社会福祉会館で開催　受講者　４６５名

年　月　日	事　　項
３．26	第３回理事会、第２回評議員会を開催し、専門委員会の名称変更と特別委員会を新設することが承認された （名称変更をした委員会）　県民スポーツ委員会 → 生涯スポーツ委員会 （新設した特別委員会）　スポーツ安全保険委員会、県体育協会の将来在り方検討委員会
５．28	第１回理事会、評議員会を開催し、平成５年度の事業報告及び収支決算並びに任期満了に伴う役員の選任を行った 監　事　中島 克己（留任）、富永 義信（留任）、山口 宇宙（新任）
６．11	第２回理事会を開催し、会長、副会長の選任、専務理事の互選、専門委員会の担当理事を選任、決定した （平成６・７年度） 会　　長　長洲 一二（留任） 副 会 長　上野 豊（留任）、木下 正雄（留任）、馬飼野正治（留任） 専務理事　若崎 重富 総務委員会委員長　工藤喜代廣 財務委員会委員長　加藤　明 競技力向上委員会委員長　上野　陽一 生涯スポーツ委員会委員長　鴻池　宗男 広報委員会委員長　作間　牧夫 スポーツ医学専門委員会委員長　高尾　良英 スポーツ少年団委員会本部長　添田　高明 ゴルファー募金運営委員会委員長　大森　茂充 体育協会会館建設委員会委員長　斎藤　達也 県体育協会の将来在り方検討委員会委員長　工藤喜代廣 スポーツ安全保険委員会委員長　根本　恒夫
８．16	神奈川県・中国遼寧省スポーツ交流選手団（バドミントン）派遣　（団長 佐藤誠治）　（ ～22 ）
10．29	第４９回国民体育大会秋季大会が愛知県で開催　（ ～11.３ ） 天皇杯順位　９位、皇后杯順位　５位
12．１	第４９回国体の解団式を挙行　１０競技　４５名の優勝者を表彰
12．21	第３回理事会を開催し、若崎専務理事病気療養のため職務代行者を選任した 専務理事代行者（外交担当）　上野 陽一 専務理事代行者（内政担当）　碓井　進
７．１．23	専務理事 若崎 重富氏 逝去
３．25	第４回理事会並びに第２回評議員会を開催し、県体育協会の在り方検討委員会の検討結果として 蛭ヶ岳山荘廃止と尊仏山荘の早期移管を報告、了承された 専務理事　笹生　登
５．27	第１回理事会、評議員会を開催し、岡崎洋県知事が会長就任
５．27	第１回理事会、評議員会を開催し、役員の退任、新役員の選任並びに平成６年度事業報告及び収支決算を承認した 会　長　岡崎　洋（新任） 副会長　對馬好次郎（新任）、斎藤 達也（新任）、野村 靖夫（新任） 理　事　大谷 寿一(新任) 参　与　小山 和夫(新任) 第５１回国民体育大会関東ブロック大会神奈川県準備委員会を設立
７．11	第５３回国民体育大会夏・秋季大会の神奈川県開催決定
10．14	第５０回国民体育大会秋季大会が福島県で開催　（ ～19 ） 天皇杯順位　７位、皇后杯順位　１２位
11．29	第５０回国体の解団式を挙行　８競技　５８名の優勝者を表彰
12．22	第２回理事会を開催し、平成７年９月１６日来の台風１２号による蛭ヶ岳山荘の被害状況と山荘存続要望を報告した
８．２．15	第３回理事会を開催し、丹沢山荘の存続を決定　「山荘問題検討会」を設置し、再検討を決定した
３．19	第５１回国民体育大会関東ブロック大会神奈川県実行委員会を設立　会期・開催地を決定 ・中心会期　８月２３日(金)～２５日(日) ・開催地　　１３市・１０町・１村
３．30	第４回理事会並びに第２回評議員会を開催し、平成８年度事業計画(案)並びに収支決算(案)、服務規程の一部改正(案)を承認した また、「国民体育大会のブロック編成に関する要望書」の提出と県立スポーツ会館の改築計画が報告された

年　月　日	事　　項
4．1	スポーツ医学専門委員会の名称をスポーツ医学委員会と変更した
5．25	第１回理事会、評議員会を開催し、任期満了に伴う役員（会長、副会長及び監事)の選任並びに平成７年度の事業報告及び収支決算を承認した
	また、体育協会事務局の移転に伴う寄附行為の一部改正並びに専門委員会規程等の改廃を承認した
	会　長　岡崎　洋（留任）
	副会長　馬飼野正治（留任）、對馬好次郎（留任）、斎藤 達也（留任）、野村 靖夫（留任）
	監　事　中島 克己（留任）、山口 宇宙（留任）、富永 義信(留任)
	顧　問　長洲　一二（前会長）、木下 正雄（前副会長）
	参　与　木村和三郎（新任）
6．1	体育協会事務局を横浜市中区山下町５４県庁山下町分庁舎本館５階に移転
	県立スポーツ会館の改築が開始　工期 平成８年６月１日から平成１０年３月３１日
6．22	第２回理事会を開催し、専務理事の互選、専門委員会等の委員長を選任した
	専務理事　笹生　登
	総務委員会委員長　工藤喜代廣
	財務委員会委員長　加藤　明
	競技力向上委員会委員長　上野　陽一
	生涯スポーツ委員会委員長　鴻池　宗男
	広報委員会委員長　作間　牧夫
	スポーツ医学委員会委員長　羽鳥　裕
	スポーツ少年団委員会本部長　添田　高明
	施設管理委員会委員長　長谷川　豊
	ゴルファー募金運営委員会委員長　加藤　明
	県体育協会の将来在り方検討委員会委員長　工藤喜代廣
	スポーツ安全協会神奈川県支部運営協議会を新設　委員長 千葉 哲人
6．29	第５１回国民体育大会関東ブロック大会開催　（ ～8.25 ）
	カヌー（Ｓ・Ｗ）（6/29）、漕艇（7/19～21）、ボウリング（7/26～28）、シンクロナイズドスイミング（8/4）、水球(8/7～8)、カヌー（Ｒ）（8/12～13）、サッカー（8/17～19）、その他２９競技は中心会期（8/23～25）
7．11	アトランタオリンピック出場選手の激励会を神奈川自治会館で行った
8．5	第５１回国民体育大会関東ブロック大会都県代表者会議を県立かながわ労働プラザにおいて開催
10．12	第５１回国民体育大会秋季大会が広島県で開催　（ ～17 ）
	天皇杯順位　５位、皇后杯順位　６位
11．28	第５１回国体の解団式を崎陽軒本店で挙行　１４競技　７９名の優勝者を表彰
12．21	第３回理事会を開催し、平成８年度収支補正予算(案)を承認した
12．24	第５２回国民体育大会関東ブロック大会アイスホッケー競技が開催された　（ ～27 ）
9．2．14	第５１回国民体育大会関東ブロック大会神奈川県実行委員会を開催（崎陽軒本店）し、事業報告並びに収支決算が承認された
3．29	第４回理事会並びに第２回評議員会を開催し、平成９年度事業計画(案)、収支予算(案)及び伊勢原射撃場の管理運営の受託が承認された
	また、笹生専務理事退職に伴う後任の専務理事として碓井 進氏が指名された
4．1	伊勢原射撃場の管理運営を神奈川県から受託した
5．24	第１回理事会並びに評議員会を開催し、平成８年度の事業報告及び収支決算を承認した
6．1	県立伊勢原射撃場が新装オープン
8．3	蛭ヶ岳山荘改築工事着工
8．21	第２４回関東ブロックスポーツ少年団交流大会を開催　足柄ふれあいの村　参加者　１６２名　（ ～24 ）
10．25	第５２回国民体育大会秋季大会が大阪府で開催　（ ～30 ）
	天皇杯順位　４位、皇后杯順位　５位
11．1	蛭ヶ岳山荘オープン　開所式を挙行
11．25	第５２回国体の解団式を崎陽軒本店で挙行　１０競技　５０名の優勝者を表彰
12．19	第２回理事会を開催し、平成９年度補正予算(案)を承認した
10．1．21	スポーツ医学委員会にトレーナー部会を設置

年　月　日	事　　項
３．14	ビクトリーサミットイン神奈川を開催　県立神奈川総合高校
３．30	国体ユニホームの新デザインが決定
４．　1	県立スポーツ会館改築工事完成に伴い、体育協会事務局を県庁山下町分庁舎から移転
	神奈川県からスポーツ会館の管理運営を受託した
	蛭ヶ岳山荘の管理運営を蛭ヶ岳山荘委員会へ委託した
４．　4	第３回理事会並びに第２回評議員会を開催し、平成１０年度事業計画（案）及び収支予算（案）を承認した
	また、任期満了に伴う役員の選任が行われた
	会　　長　岡崎　　洋（留任）
	副 会 長　馬飼野正治（留任）斎藤 達也（留任）小森 良治（新任）
	専務理事　碓井 進（留任）
	監　　事　田原 兼義（新任）富永 義信（留任）山口 宇宙（留任）
	顧　　問　對馬好次郎（新任）野村 靖夫（新任）
	参　　与　流石 征治（留任）白鳥 稔（新任）金井 襄（新任）中丸 靖元（留任）
４．25	県立スポーツ会館の開所式を挙行
５．　3	かながわ・ゆめ国体開幕祭が平塚市総合公園で開催
５．30	第１回理事会並びに評議員会を開催し、平成９年度の事業報告及び収支決算を承認した
	また、平成１０・１１年度専門委員会等の委員長を選任した
	＜専門委員会＞
	総務委員会委員長　工藤喜代廣
	財務委員会委員長　澤野善治郎
	競技力向上委員会委員長　上野　陽一
	生涯スポーツ委員会委員長　鴻池 宗男
	広報委員会委員長　作間 牧夫
	スポーツ医学委員会委員長　吉岡 利忠
	スポーツ少年団委員会本部長　添田 高明
	施設管理委員会委員長　長谷川 豊
	＜特別委員会＞
	ゴルファー募金運営委員会委員長　上　　欽一
	県体育協会の将来在り方検討委員会委員長　工藤喜代廣
	スポーツ安全協会神奈川県支部運営協議会委員長　千葉　哲人
７．31	第１７回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会を開催（相模原北総合体育館他）　（ ～8.２ ）
	軟式野球・バレーボール・ミニバスケットボール・バドミントンの４種目
９．　5	第５３回国民体育大会夏季大会県選手団結団式　（横浜市西区公会堂）
９．10	県立スポーツ会館に夏季国体競技本部を設置　（ ～15 ）
９．12	第５３回国民体育大会夏季大会開会　（相模原グリーンプール他）　（ ～15 ）
９．16	第５３回日本体力医学会全国大会がパシフィコ横浜で開催され、大会会長にスポーツ医学委員会委員長 吉岡利忠氏就任
10．18	第５３回国民体育大会秋季大会本県選手団結団式（横浜国際総合競技場）
10．21	県立スポーツ会館に秋季国体競技本部を設置　（ ～29 ）
10．24	第５３回国民体育大会秋季大会開会　（横浜国際総合競技場）　（ ～29 ）
	天皇杯 優勝（３６３５．５点）、皇后杯 優勝（１５８２．２５点）
10　29	第５３回国体の解団式を挙行　（横浜国際総合競技場）
11．14	かながわ・ゆめ国体閉幕祭が平塚市総合公園で開催
12．　1	第５３回国民体育大会本県選手団の優勝団体及び優勝者を表彰　（県立神奈川総合高校）
12．22	第２回理事会を開催し、平成１０年度補正予算（案）を承認した
11．　2．19	監事 富永 義信氏 逝去
２．24	平成１０年度スポーツ少年団関東ブロック会議を開催　（湘南国際村）　（ ～25 ）
３．20	第３回理事会並びに第２回評議委員会を開催し、体育協会役員の定年制を制定
４．　1	スポーツ医科学委員会にスポーツ医科学サポート委員会を設置
４．15	かながわ・ゆめ国体記念スポーツ振興基金を設置
５．23	第１回加盟団体理事長会議　（箱根湯本）　（ ～24 ）

年　月　日	事　　項
5．29	第１回理事会並びに評議員会を開催し、平成１０年度の事業報告及び収支決算、役員の変更が承認された
	〈顧問〉
	馬飼野正治
	〈監事〉
	野口 隆史
	〈専門委員会〉
	広報委員会委員長　難波 一尚
	スポーツ少年団委員会本部長　山田 眞司
	施設管理委員会委員長　貝道 和昭
	スポーツ安全協会神奈川県支部運営協議会委員長　田中 茂夫
5．29	神奈川県トライアスロン連合の加盟、神奈川県ダンススポーツ連盟の仮加盟を承認
8．14	全国スポーツ少年団軟式野球交流大会を本県で開催　（県立保土ケ谷野球場）　（ ～17 ）
10．23	第５４回国民体育大会秋季大会が熊本県で開催　（ ～27 ）
	天皇杯順位　８位（１，５７０点）、皇后杯順位　９位（１，００２点）
11．8	神奈川スポーツマンチャリティーゴルフ大会を開催　（葉山国際カンツリー倶楽部）
11．30	第５４回国民体育大会県選手団解団式・表彰式を開催　（県立神奈川総合高校）
12．22	第２回理事会を開催し、平成１１年度補正予算（案）を承認した
12．1．15	第２回加盟団体理事長会議を開催　（県社会福祉会館）
3．25	第３回理事会並びに第２回評議員会を開催し、平成１２年度事業計画（案）及び収支予算（案）を承認した
	平成１２・１３年度の役員が選任された
	会　　長　岡崎　洋（留任）
	副 会 長　斎藤 達也（留任）　小森 良治（留任）　碓井 進（新任）
	専務理事　明石 一雄（新任）
	〈監　事〉野口　隆史　山口　宇宙　田原　兼義
	〈専門委員会〉
	総務委員会委員長　竹内 吉治　（新任）
	財務委員会委員長　澤野善治郎　（留任）
	広報委員会委員長　三枝 忠一　（新任）
	競技力向上委員会委員長　上野 陽一　（留任）
	生涯スポーツ委員会委員長　難波 一尚　（新任）
	スポーツ少年団委員会本部長　碓井　進　（新任）
	スポーツ医学委員会委員長　河野 卓也　（新任）
	〈特別委員会〉
	ゴルファー募金運営委員会委員長　森田 之雄　（新任）
	スポーツ安全協会神奈川県支部運営協議会委員長　関野　充　（新任）
	＊在り方検討委員会、施設管理委員会を総務委員会に統合
3．25	神奈川県スポーツチャンバラ協会、神奈川県跆拳道協会、神奈川県オリエンテーリング協会の加盟を承認
4．1	一貫指導体制推進モデル事業を開始
5．27	第１回理事会並びに評議員会を開催し、平成１１年度の事業報告及び収支決算を承認した
8．11	専門委員会委員長会議を開催(県立スポーツ会館)
10．14	第５５回国民体育大会秋季大会が富山県で開催(～19)
	天皇杯順位　４位（１７２４．１６点）　皇后杯順位　５位（７９３．１６点）
11．27	神奈川スポーツマンチャリティーゴルフ大会を開催（大箱根カントリークラブ）
13．3．31	第２回評議員会並びに第２回理事会を開催し、平成１３年年度事業計画及び収支予算を承認した
5．26	第１回評議員会並びに第１回理事会を開催し、平成１２年度の事業報告及び収支決算を承認した
9．1	専門委員会委員長会議並びに加盟団体理事長会議を開催（ヨコハマプラザホテル）
10．13	第５６回国民体育大会秋季大会が宮城県で開催（ ～18 ）
	天皇杯順位　５位（１６２５．５点）　皇后杯順位　９位（７３９．５点）
11．5	神奈川スポーツマンチャリティーゴルフ大会を開催（相模野カンツリー倶楽部）
14．3．23	平成１３年度第２回評議員会並びに第２回理事会を開催し、スポーツ医学委員会をスポーツ医科学委員会と名称変更

年　月　日	事　　項
	神奈川県エアロビック連盟、神奈川県合気道協会の加盟を承認
	平成１４・１５年度の役員が選任された
	会　　長　岡崎　　洋（留任）
	副 会 長　斎藤 達也（留任）　曽根　秀敏（新任）　碓井　　進（留任）
	専務理事　明石 一雄（留任）
	〈監　事〉山口　宇宙　野口　隆史　田原　兼義
	〈専門委員会〉
	総務委員会委員長　貝道　和昭　（新任）
	財務委員会委員長　山崎　善也　（新任）
	広報委員会委員長　齋藤　幸次　（新任）
	競技力向上委員会委員長　渡邉　勝己　（新任）
	生涯スポーツ委員会委員長　難波　一尚　（留任）
	スポーツ少年団委員会本部長　碓井　　進　（留任）
	スポーツ医科学委員会委員長　河野　卓也　（留任）
	〈特別委員会〉
	ゴルファー募金運営委員会委員長　森田　之雄　（留任）
	スポーツ安全協会神奈川県支部運営協議会委員長　吉田　和市　（新任）
４．　1	県立伊勢原射撃場環境整備工事のため、休場に入る　（～H１６年３月までの予定）
５．21	平成１４年度第１回関東地区体育協会連絡協議会が東京都で開催され、第５９回国体関東ブロック大会の神奈川県での開催が決定
５．25	平成１４年度第１回評議員会並びに第１回理事会を開催し平成１３年度の事業報告及び収支決算を承認した
７．　3	加盟団体理事長会議を開催（ホテルリッチ横浜）
８．　7	専門委員会委員長会議を開催
10．21	第５７回国民体育大会秋季大会が高知県で開催（ ～31 ）
	天皇杯順位　　４ 位（ １６９９ 点）　皇后杯順位　　６ 位（ ７７２．５ 点）
11．　6	(財)日本体育協会と共催で日本マスターズ2002(神奈川大会)を開催した。(～12)
15．　3．22	第２回評議員会並びに第２回理事会を開催し、平成１５年年度事業計画及び収支予算を承認した
５．　2	第５９回国民体育大会関東ブロック大会第1回準備委員会を開催した
５．24	第１回評議員会並びに第１回理事会を開催し、松沢 成文県知事が新会長に承認された。
７．25	第４１回全国スポーツ少年大会を開催した（愛川町立文化会館・県立愛川ふれあいの村）
８．12	委員長会議･競技団体理事長会議を開催した
10．21	第５８回国民体育大会秋季大会が静岡県で開催（ ～３０ ）
	天皇杯順位　　７ 位（ １５４６．５点）　皇后杯順位　　１０　位（　６８９．５点）
12．20	第２回評議員会並びに第２回理事会を開催し、平成１５年度の収支補正予算を承認した
３．27	平成１５年度第３回評議員会並びに第３回理事会を開催し、平成１６年度事業計画及び収支予算を承認した
	平成１６・１７年度の役員が選任された
	会　　長　松沢　成文（留任）
	副 会 長　斎藤 達也（留任）　曽根　秀敏（留任）　碓井　　進（留任）
	専務理事　明石 一雄（留任）
	〈監　事〉小泉　勝彦　　田原　兼義　　野口　隆史
	〈専門委員会〉
	総務委員会委員長　貝道　和昭　（留任）
	財務委員会委員長　山崎　善也　（留任）
	広報委員会委員長　齋藤　幸次　（留任）
	競技力向上委員会委員長　田村　義男　（新任）
	生涯スポーツ委員会委員長　三枝　忠一　（新任）
	スポーツ少年団委員会本部長　碓井　　進　（留任）
	スポーツ医科学委員会委員長　中村　　豊　（新任）
	〈特別委員会・その他関連委員会〉
	ゴルファー募金運営委員会委員長　森田　之雄　（留任）

年　月　日	事　　項
	スポーツ安全協会神奈川県支部運営協議会委員長　　財田　信之　（新任）
16．　5．29	平成１６年度第1回評議員会並びに第1回理事会を開催し、平成１５年度事業報告及び収支決算を承認した
7．23	第５９回国民体育大会関東ブロック大会開催　29競技　中心会期 夏季7／23～25　秋季8／27～29　（ ～9.4 ）
9．10	第５９回国民体育大会夏季大会が埼玉県で開催（ ～14 ）
10．8	専門委員会委員長会議を開催(県立スポーツ会館)
10．15	加盟団体理事長会議を開催（県立スポーツ会館）
10．23	第５９回国民体育大会秋季大会が埼玉県で開催（ ～28 ）
	天皇杯順位　　３ 位（ １８２３．０点）　皇后杯順位　　５　位（　７８５．５点）
12．24	神奈川スポーツ人のつどいを開催　　於　　ホテルキャメロットジャパン
17．　3．26	平成１6年度第2回評議員会並びに第2回理事会を開催し、平成１7年度事業計画及び収支予算を承認した
3．26	第２回評議員会及び理事会を開催し、神奈川県ダンススポーツ連盟の新規加盟について承認
	スポーツ安全協会神奈川県支部運営協議会廃止（スポーツ安全協会本部方針）
5．21	平成１７年度第1回評議員会並びに第1回理事会を開催し、平成１６年度事業報告及び収支決算を承認した
7．23	第６０回国民体育大会関東ブロック大会開催　29競技　中心会期 夏季7／23～25　秋季8／26～28
8．24	第36回関東ブロックスポーツ少年大会開催。於：県立三浦ふれあいの村（～２５日）
9．9	第６０回国民体育大会夏季大会が岡山県で開催（ ～13 ）
10．22	第６０回国民体育大会秋季大会が岡山県で開催（ ～27 ）
	天皇杯順位　　１０ 位（ １４１４．３３点）　皇后杯順位　　２０　位（　５３３．５点）
18．　3．25	平成17年度第２回評議員会並びに第２回理事会を開催し、平成18年度事業計画（案）及び収支予算（案）を承認した
3．25	平成１８・１９年度の役員が選任された
	新会長に山下泰裕氏（東海大学教授）就任
3．31	神奈川県から受託した伊勢原射撃場の管理運営を終了
4．1	県立スポーツ会館指定管理者となる
4．22	平成18年度第１回理事会を開催し、
	理事（学識経験者）・副会長・専務理事・専門委員会委員長を選任した
	副 会 長　山下　長兵衛（新任）　　碓井　　進（留任）　　貝道　和昭（新任）
	専務理事　石原　春男
	〈監　事〉小泉　勝彦　　田原　兼義　　野口　隆史
	〈専門委員会〉
	総務委員会委員長　　須坂　春樹　（新任）
	財務委員会委員長　　田中　國義　（新任）
	競技力向上委員会委員長　　阿部　克三　（新任）
	生涯スポーツ委員会委員長　　佐藤　誠治　（新任）
	広報委員会委員長　　齋藤　幸次　（留任）
	スポーツ医科学委員会委員長　　高田　英臣　（新任）
	スポーツ少年団委員会本部長　　碓井　　進　（留任）
	〈特別委員会・その他関連委員会〉
	ゴルファー募金運営委員会委員長　　安藤　　彬　（新任）
5．27	平成18年度第２回理事会が開催され、平成17年度事業報告（案）及び収支決算（案）を承認した
	平成18・19年度(財) 神奈川県体育協会参与を選任した
	参　　与　　引地　孝一　　黒川　雅夫　　三角　秀行
7．23	第６１回国民体育大会関東ブロック大会開催（ 栃木県） 29競技　7／21～8／27
7．28	第２５回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会開催（～30）
8．31	「山下泰裕会長と語る会」を開催した　　於　ホテルコスモ横浜
9．30	第６１回国民体育大会本大会が兵庫県で開催（ ～10 /10 ）
	天皇杯順位　　6 位（ １６８５点）　皇后杯順位　　6　位（　７３１．５点）
19．　4．1	ゴルファー募金システムが変更され、外部のゴルファー募金運営委員会に募金される
5．23	もう一つの社会貢献「いじめ防止」の緊急集会を開催した　　於　オークラフロンティアホテル海老名
	「いじめ防止」ポスター（１９，０００部）を作成し、全県下に配布した
5　26	第１回理事会・評議員会が開催され、平成18年度事業報告（案）及び収支決算（案）を承認した

年　月　日	事　　項
7．14	理事長会議に於いて「４つの柱アンケート」による加盟団体の活動実態を調査把握　於　県立体育センター
8．28	ゴルファー募金運営委員会が外部に組織されたことにより、ゴルファー募金活用委員会に名称変更
9．29	第６２回国民体育大会本大会が秋田県で開催（ ～10 ／９ ）
	天皇杯順位　　4 位（ １７３５点）　皇后杯順位　　6　位（　７２２点）
20．1．14	県体育協会が事務局となる「アスリートネットワーク」を設立　　於　横浜技能文化会館
3．19	神奈川県教育委員会教育長から感謝状を受ける
3．22	第５回理事会を開催　役員改選（平成２０・２１年度）の結果
	会　長　山下泰裕（留任）
	副会長　引地孝一（新任）、貝道和昭（留任）、宮武俊弘（新任）
	監　事　越水　清（新任）、齋藤幸雄（新任）、野口隆史（留任）
5．24	第１回理事会を開催し、副会長に池田典義（新任）を選任した
	専務理事・専門委員会委員長を選任した
	専務理事　石原　春男
	〈専門委員会〉
	総務委員会委員長　須坂　春樹　（留任）
	財務委員会委員長　中野　敏雄　（新任）
	競技力向上委員会委員長　阿部　克三　（留任）
	生涯スポーツ委員会委員長　佐々木　悦子（新任）
	広報委員会委員長　齋藤　幸次　（留任）
	スポーツ医科学委員会委員長　橋本　吉登　（新任）
	スポーツ少年団委員会本部長　田中　國義　（新任）
	〈特別委員会・その他関連委員会〉
	ゴルファー募金活用委員会委員長　安藤　　彬　（留任）
	平成２０年度事業報告（案）及び収支決算（案）を承認した
6．1	第６３回国民体育大会関東ブロック大会開催（ 山梨県） 32競技　6／１～8／24
9．27	第６３回国民体育大会本大会が大分県で開催(中心会期 ～10 ／７)
	天皇杯順位　　４ 位（ １６５０．５点）　皇后杯順位　　６　位（　７５８点）
11．8	もう一つの社会貢献「いじめ防止」標語を募集し、最優秀賞等表彰式を行った
3．22	平成２０年度第５回理事会を開催し、平成２１年度事業計画（案）及び収支予算(案）を承認した
21．4．1	県立スポーツ会館指定管理者となる
	蛭ヶ岳山荘を特定非営利活動法人北丹沢山岳センターへ譲渡した
5．23	平成２１年度第１回理事会を開催し、平成２０年度事業報告（案）及び収支決算（案）を承認した
5．24	第６４回国民体育大会関東ブロック大会（千葉県内他） 32競技　5／24～8／25
6．4	尊仏山荘を有限会社丹沢山荘へ譲渡した。
9．26	第６４回国民体育大会本大会が大分県で開催(中心会期 ～10 /6)
	天皇杯順位　　５　位（ １６４３点）　　皇后杯順位　　４　位（　７８２．５点）
10．31	「加盟団体代表者会議」・「スポーツと環境かながわフォーラム」を開催した。（オークラフロンティアホテル海老名）
22．3．27	第２回評議員会並びに第４回理事会を開催し、平成２２年度事業計画(案）及び収支予算（案）を承認した。
	平成２２・２３年度の役員が選任された。
	会　長　　山下　泰裕（留任）
	副会長　　引地　孝一（留任）、宮武　俊弘（留任）、池田　典義（留任）
	監　事　　安藤　　彬（新任）、阿部　克三（新任）、野口　隆史（留任）
	〈専門委員会〉
	総務委員会委員長　高橋　　茂　（新任）
	財務委員会委員長　志村　真吾　（新任）
	競技力向上委員会委員長　堀川　博美　（新任）
	生涯スポーツ委員会委員長　佐々木　悦子（留任）
	広報委員会委員長　尾喜　純一　（留任）
	スポーツ医科学委員会委員長　小堀　悦孝　（新任）
	スポーツ少年団委員会本部長　田中　國義　（留任）

年　月　日	事　　項
	〈特別委員会・その他関連委員会〉
	ゴルファー募金活用委員会委員長　　齋藤　幸次　（新任）
5．22	第1回評議員を開催した。
	第１回理事会を開催し、専務理事を互選した。
	専務理事　石原春男
	平成２２年度第１回理事会を開催し、平成２１年度事業報告（案）及び収支決算（案）を承認した。
6．6	第６５回国民体育大会関東ブロック大会（群馬県内他）　32競技　6／6～8／25
9．18	第１回理事会を開催し、公益財団法人へ移行することを機関決定した。
9．25	第６５回国民体育大会本大会が千葉県で開催(中心会期 ～10 /5)
	天皇杯順位　　３　位(　１９７５点)　　皇后杯順位　　４　位(　８３６点)
12．2	平成２２年度第４回理事会において、評議員選定委員会委員を選任した。
23．3．11	東日本大震災が発生
3．26	平成２２年度第２回評議員会及び平成２２年度第５回理事会を開催し、
	平成２３年度事業計画（案）及び収支予算（案）を承認した。
4．1	スポーツ安全保険業務についてスポーツ安全協会本部との業務委託契約方式採用開始
4．7	公益財団法人移行後、最初の役員選考委員会を開催した。
4．28	公益財団法人移行後、最初の評議員選定委員会を開催し、評議員を選任した。
5．22	第６６回国民体育大会関東ブロック大会（茨城県内他）　5／22～8／25
5．28	平成２３年度第１回評議員会及び平成２３年度第１回理事会を開催し、
	平成２２年度事業報告（案）及び収支決算（案）を承認した。
	また、公益財団法人移行後、最初の役員の選任をした。
9．7	第６６回国民体育大会が千葉県で開催(本大会 ～10 /11)
	天皇杯順位　　６　位(　１６２８．８３点)　　皇后杯順位　　８　位(　７４１点)
10．26	社会貢献活動等本会の事業にご協力いただいた企業等へ感謝状を贈呈した。
	感謝状贈呈式開催　於：オークラフロンティアホテル海老名
24．2．17	第２回公益財団法人移行後、最初の評議員選定委員会を開催し、未選任の評議員を選任した。
3．7	第２回公益財団法人移行後、最初の役員選考委員会を開催した。
3．24	平成２３年度第２回評議員会を開催した。
	平成２３年度第３回理事会を開催し、平成２４年度事業計画（案）及び収支予算（案）を承認した。
	また、公益財団法人移行後最初の役員の選任をした。（平成２３年度第１回理事会にて未選任の役員を選任）
4．1	公益財団法人設立登記を完了した。
	公益財団法人新役員（平成２４・２５年度）
	会　長　　山下　泰裕（留任）
	副会長　　引地　孝一（留任）新木　康稔（新任）鴻　　義久（新任）石原　春男（新任）亀ヶ谷修（新任）
	専務理事　高橋　　悟（新任）
	監　事　　宮武　俊弘（新任）丹治　　明（新任）井出ひろみ（新任）
	〈専門委員会〉
	総務委員会委員長　　高橋　　茂　（留任）
	財務委員会委員長　　三塚　康雄　（新任）
	競技力向上委員会委員長　　堀川　博美　（留任）
	生涯スポーツ委員会委員長　　佐々木悦子　（留任）
	広報委員会委員長　　尾喜　純一　（留任）
	スポーツ医科学委員会委員長　　齋藤　啓二　（新任）
	スポーツ少年団本部長　　田中　國義　（留任）
	〈特別委員会・その他関連委員会〉
	ゴルファー募金活用委員会委員長　　齋藤　幸次　（留任）
5．20	第６７回国民体育大会関東ブロック大会（東京都他）　5／20 ～8／29
5．26	平成２４年度第２回理事会を開催し、平成２３年度事業報告（案）及び収支決算（案）を協議した。
6．9	平成２４年度定時評議員会を開催し、平成２３年度事業報告（案）及び収支決算（案）を承認した。
9．29	第６７回国民体育大会が岐阜県で開催(本大会９/29 ～10 /９)

年　月　日	事　　項
	天皇杯順位　　６　位（１４９０点）　　皇后杯順位　　１０　位（　６８０点）
25．　３．16	平成２４年度第４回理事会を開催し、平成２５年度事業計画（案）及び収支予算（案）を承認した。
３．30	平成２４年度臨時評議員会を開催し、平成２５年度事業計画（案）及び収支予算（案）を承認した。
５．25	平成２５年度第１回理事会を開催し、平成２４年度事業報告（案）及び収支決算（案）を承認した。
６．　2	第６８回国民体育大会関東ブロック大会（神奈川県他）6／2 ～8／29
６．16	平成２５年度定時評議員会を開催し、平成２４年度事業報告（案）及び収支決算（案）を承認した。
６．20	「２０２０オリンピック・パラリンピック東京大会招致活動in横浜」を新都市プラザで開催
７．　5	「みんなで考えよう神奈川における人間教育の場としての部活指導のあり方と暴力行為根絶に向けた集い」を
	県立神奈川総合高校多目的ホールで開催。
８．22	第４４回関東ブロックスポーツ少年大会開催　於：県立愛川ふれあいの村（～24日）
９．　7	２０２０オリンピック・パラリンピック東京大会　開催決定
９．29	第６８回国民体育大会が東京都で開催(本大会9/29～10/9)
	天皇杯順位　　６　位（１４９０点）　　皇后杯順位　　１０　位（　６８０点）
26．　２．22	神奈川県スポーツ少年団創設５０周年記念式典を挙行　会場：茅ヶ崎市民文化会館
３．　9	平成２５年度第４回理事会を開催し、平成２６年度事業計画（案）及び収支予算（案）を承認した。
	また、名誉会長職の設置、倫理委員会設置と関連する諸規定の制定について承認した。
３．29	平成２５年度臨時評議員会（第２回）を開催し、平成２６年度事業計画（案）及び収支予算（案）を承認した。
６．　1	平成２６年度第１回理事会を開催し、平成２５年度事業報告（案）及び収支決算（案）を承認した。
	また平成２６・２７年度役員候補者についても報告された。
６．14	平成２６年度定時評議員会を開催し、平成２５年度事業報告（案）及び収支決算（案）を承認した。
	名誉会長職の設置、倫理委員会設置と関連する諸規定の制定についての承認、平成２６・２７年度役員の選任を行った。
６．14	平成２６年度第２回理事会（新役員）を開催し、名誉会長、会長、副会長、専務理事、専門委員会等委員長を選任した。
	新役員（平成２６・２７年度）
	名誉会長　山下　泰裕
	会　　長　鴻　　義久（新任）
	副 会 長　堀川　博美（新任）三塚　康雄（新任）羽田　愼司（新任）
	専務理事　高橋　　悟（留任）
	監　　事　清水　　明（新任）柳橋　　武（新任）井出ひろみ（留任）
	〈専門委員会〉
	総務委員会委員長　山田　悠一　（新任）
	財務委員会委員長　関口美惠子　（新任）
	競技力向上委員会委員長　本木　幹雄　（新任）
	生涯スポーツ委員会委員長　吉松　　徹　（新任）
	広報委員会委員長　泉水　孝子　（新任）
	スポーツ医科学委員会委員長　小澤　秀樹　（新任）
	スポーツ少年団本部長　佐々木悦子　（新任）
	ゴルファー募金活用委員会委員長　吉田　秀志　（新任）
	倫理委員会委員長　堀川　博美　（新任）
６．15	第６９回国民体育大会関東ブロック大会（栃木県）6／15 ～8／30
７．25	第３３回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会を開催　開会式：平塚サンライフアリーナ(７/25～７/27)
10．12	第６９回国民体育大会が長崎県で開催(本大会10/12 ～10 /22)
	天皇杯順位　　６　位（１６４９．５点）　　皇后杯順位　　９　位（　６９３点）
11．　7	暴力行為等相談窓口を開設し、受付業務を開始。
27．　３．　1	（公財）神奈川県体育協会創立７５周年記念式典及び祝賀会を藤沢市民会館にて開催。
３．14	平成２６年度第４回理事会を開催し、平成２７年度事業計画（案）及び収支予算（案）を承認した。
３．28	平成２６年度臨時評議員会を開催し、平成２７年度事業計画（案）及び収支予算（案）を承認した。
４．　1	県立スポーツ会館指定管理者となる。
５．30	平成２７年度第１回理事会を開催し、平成２６年度事業報告（案）及び収支決算（案）を承認した。
	神奈川県グラウンドゴルフ協会と神奈川県日本拳法連盟の加盟が承認された。
	「創立７５周年記念誌」を発刊。

年　月　日	事　　項
6．7	第７０回国民体育大会関東ブロック大会（埼玉県）6／17 ～8／24
6．14	平成２７年度定時評議員会を開催し、平成２６年度事業報告（案）及び収支決算（案）を承認した。
	また、神奈川県グラウンドゴルフ協会と神奈川県日本拳法連盟の加盟が承認された。
	神奈川育ちのオリンピアン出場を目指してアスリート育成事業を実施。
9．6	第７０回国民体育大会が和歌山県で開催(本大会9/26 ～10 /6)
	天皇杯順位　　６　位(１６２６．０点)　　皇后杯順位　　７　位(７２９．５点)
28．3．12	平成２７年度第４回理事会を開催し、平成２８年度事業計画（案）及び収支予算（案）を承認した。
	また、総務・財務委員会の設置を承認した。
3．26	平成２７年度臨時評議員会を開催し、平成２８年度事業計画（案）及び収支予算（案）を承認した。
5．20	アスリート就職支援企業説明会を開催。
6．4	平成２８年度第１回理事会を開催し、平成２７年度事業報告（案）及び収支決算（案）を承認した。
	また、平成２８年度から３１年度の評議員候補者の推薦を承認した。
6．5	第７１回国民体育大会関東ブロック大会（山梨県）6／5 ～8／28
6．9	平成２８年度第１回評議員選定委員会を開催し、平成２８年度から３１年度の評議員の選任を行った。
6．18	平成２８年度定時評議員会を開催し、平成２７年度事業報告（案）及び収支決算（案）を承認した。
	平成２８・２９年度役員の選任を行った。また平成２８年度から３１年度の評議員を承認した。
6．18	平成２８年度第２回理事会（新役員）を開催し、名誉会長、会長、副会長、専務理事、専門委員会等委員長を選定した。
	新役員（平成２８・２９年度）
	名誉会長　山下　泰裕
	会　　長　鴻　　義久（留任）
	副 会 長　堀川　博美（留任）河原　　智（新任）羽田　愼司（留任）
	専務理事　小野　　力（新任）
	監　　事　不破　伸二（新任）清水　　明（留任）井出ひろみ（留任）
	〈専門委員会〉
	総務・財務委員会委員長　　泉水　孝子　（新任）
	競技力向上委員会委員長　　枝迫興一郎　（新任）
	生涯スポーツ委員会委員長　　吉松　　徹　（留任）
	広報委員会委員長　　関口美惠子　（新任）
	スポーツ医科学委員会委員長　　小澤　秀樹　（留任）
	スポーツ少年団本部長　　安倍　正弘　（新任）
	ゴルファー募金活用委員会委員長　　吉田　秀志　（留任）
	倫理委員会委員長　　堀川　博美　（留任）
9．4	第７１回国民体育大会が岩手県で開催(本大会10/1 ～10 /11)
	天皇杯順位　　８　位(１５２０．０点)　　皇后杯順位　　９　位(７５１．０点)
29．3．11	平成２８年度第５回理事会を開催し、平成２９年度事業計画（案）及び収支予算（案）を承認した。
3．25	平成２８年度臨時評議員会を開催し、平成２９年度事業計画（案）及び収支予算（案）を承認した。
6．3	平成２９年度第２回理事会を開催し、平成２８年度事業報告（案）及び収支決算（案）を承認した。
6．17	平成２９年度定時評議員会を開催し、平成２８年度事業報告（案）及び収支決算（案）を承認した。
7．8	第７２回国民体育大会関東ブロック大会（群馬県）7／8 ～8／27
7．25	アスリート就職支援企業説明会を開催。
9．9	第７２回国民体育大会が愛媛県で開催(本大会9/30 ～10/10)
	天皇杯順位　　５　位(１６７５．５点)　　皇后杯順位　　７　位(８３５．０点)
30．3．10	平成２９年度第７回理事会を開催し、平成３０年度事業計画（案）及び収支予算（案）を承認した。
3．24	平成２９年度第２回臨時評議員会を開催し、平成３０年度事業計画（案）及び収支予算（案）を承認した。
5．11	平成３０年度第１回役員選考委員会を開催し、平成３０・３１年度の役員の選考を行った。
6．9	平成３０年度第２回理事会を開催し、平成２９年度事業報告（案）及び収支決算（案）を承認した。
6．15	アスリート就職支援企業説明会を開催。
6．23	平成３０年度定時評議員会を開催し、平成２９年度事業報告（案）及び収支決算（案）を承認した。
	平成３０・３１年度役員の選任を行った。
6．23	平成３０年度第３回理事会（新役員）を開催し、名誉会長、会長、副会長、専務理事、専門委員会等委員長を選定した。
	新役員（平成３０・３１年度）
	名誉会長　山下　泰裕

年　月　日	事　　項
	会　　長　鴻　　義久（留任）
	副 会 長　堀川　博美（留任）菊地　　正（新任）羽田　愼司（留任）
	専務理事　小野　　力（留任）
	監　　事　秋山　　聡（新任）中田　　勉（新任）井出ひろみ（留任）
	〈専門委員会〉
	総務・財務委員会委員長　　泉水　孝子　（留任）
	競技力向上委員会委員長　　鈴木　　一　（新任）
	生涯スポーツ委員会委員長　　半田眞一郎　（新任）
	広報委員会委員長　　関口美惠子　（留任）
	スポーツ医科学委員会委員長　　藤谷　博人　（新任）
	スポーツ少年団本部長　　安倍　正弘　（留任）
	ゴルファー募金活用委員会委員長　　諸井　三義　（新任）
	倫理委員会委員長　　堀川　博美　（留任）
７．　７	第７３回国民体育大会関東ブロック大会（茨城県）７／７　～８／２７
９．29	第７３回国民体育大会が福井県で開催（本大会９/２９～１０/９）
	天皇杯順位　　７　位（ １６１１.０点）　　皇后杯順位　　６　位（ ８８４点）
31．　３．　９	平成３０年度第６回理事会を開催し、平成３１年度事業計画（案）及び収支予算（案）を承認した。
３．23	平成３０年度第１回臨時評議員会を開催し、平成３１年度事業計画（案）及び収支予算（案）を承認した。
令和	
１．　５．　１	新元号「令和」となる
５．　１	アスリート就職支援のための「無料職業紹介事業許可証」が交付された。
６．　９	第７４回国民体育大会関東ブロック大会（千葉県他）６／９　～８／２６
６．14	令和元年度第１回理事会を開催し、平成３０年度事業報告（案）及び収支決算（案）を承認した。
６．29	令和元年度定時評議員会を開催し、平成３０年度事業報告（案）及び収支決算（案）を承認した。
９．28	第７４回国民体育大会が茨城県で開催（本大会９/２８～１０/８）
	天皇杯順位　　５　位（ １６４３.５点）　　皇后杯順位　　９　位（ ７６４点）
２．　３．　３	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、スポーツ会館の臨時休館を実施（6月30日まで）。
３．17	令和元年度第４回理事会を開催（書面）し、令和２年度事業計画（案）及び収支予算（案）を承認した。
４．　１	本会の名称を公益財団法人神奈川県スポーツ協会に変更した。
	県立スポーツ会館指定管理者となる。
５．17	令和元年度臨時評議員会を開催（書面）し、令和２年度事業計画（案）及び収支予算（案）を承認した。
	神奈川県サーフィン連盟の加盟が承認された。
７．　２	令和２年度第１回評議員選定委員会を開催（書面）し、令和２年度から５年度の評議員の選任を行った。
７．14	令和２年度定時評議員会を開催（書面）し、令和元年度事業報告（案）及び収支決算（案）を承認した。
	令和２・３年度役員の選任を行った。
８．　５	令和２年度第２回理事会（新役員）を開催し、名誉会長、会長、副会長、専務理事、専門委員会等委員長を選定した。
	新役員（令和２・３年度）
	名誉会長　山下　泰裕
	会　　長　鴻　　義久（留任）
	副 会 長　堀川　博美（留任）菊地　　正（留任）羽田　愼司（留任）
	専務理事　小野　　力（留任）
	監　　事　鈴木　　一（新任）中田　　勉（留任）井出ひろみ（留任）
	〈専門委員会〉
	総務・財務委員会委員長　　泉水　孝子　（留任）
	競技力向上委員会委員長　　不破　伸二　（新任）
	生涯スポーツ委員会委員長　　半田眞一郎　（留任）
	広報委員会委員長　　関口美惠子　（留任）
	スポーツ医科学委員会委員長　　藤谷　博人　（留任）

年　月　日	事　　項
	スポーツ少年団本部長　　安倍　正弘　（留任）
	ゴルファー募金活用委員会委員長　　諸井　三義　（留任）
	倫理委員会委員長　　堀川　博美　（留任）
9．	第７５回国民体育大会（鹿児島県）は延期となり、令和５年に特別国民体育大会として開催される。
3．　1．12	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、スポーツ会館の臨時休館を実施（10月24日まで）。
1．27	第７６回国民体育大会冬季大会スケート・アイスホッケー競技会が愛知県・岐阜県で開催（１／２７　～１／３１）
	天皇杯順位　　６位　　皇后杯順位　　３位
3．12	令和２年度第４回理事会を開催し、令和３年度事業計画（案）及び収支予算（案）を承認した。
3．27	令和２年度臨時評議員会を開催し、令和３年度事業計画（案）及び収支予算（案）を承認した。
	神奈川県バウンドテニス協会の仮加盟を承認
5．30	第７６回国民体育大会関東ブロック大会（栃木県）５／３０　～８／２３
6．11	令和３年度第１回理事会を開催し、令和２年度事業報告（案）及び収支決算（案）を承認した。
6．26	令和３年度定時評議員会を開催し、令和２年度事業報告（案）及び収支決算（案）を承認した。
9．	第７６回国民体育大会（三重県）が中止となった。
4．　1．24	第７７回国民体育大会冬季大会が栃木県・秋田県で開催（１／２４　～２／１７）
3．11	令和３年度第４回理事会を開催し、令和４年度事業計画（案）及び収支予算（案）を承認した。
3．26	令和３年度臨時評議員会を開催し、令和４年度事業計画（案）及び収支予算（案）を承認した。
	神奈川県跆拳道協会の本会脱退が報告された。
3．31	「スポーツ団体ガバナンスコード遵守状況」について公表を行った。
6．10	令和４年度第１回理事会を開催し、令和３年度事業報告（案）及び収支決算（案）を承認した。
6．11	第７７回国民体育大会関東ブロック大会（東京県）６／１１　～８／３０
6．25	令和４年度定時評議員会を開催し、令和３年度事業報告（案）及び収支決算（案）を承認した。
	令和４・５年度役員の選任を行った。
6．25	令和４年度第２回理事会（新役員）を開催し、名誉会長、会長、副会長、専務理事、専門委員会等委員長を選定した。
	新役員（令和４・５年度）
	名誉会長　山下　泰裕
	会　　長　岡田　伸浩（新任）
	副 会 長　泉水　孝子（新任）樋川　芳雄（新任）浅羽　義里（新任）
	専務理事　田中不二夫（新任）
	監　　事　鈴木　　一（留任）中田　　勉（留任）井出ひろみ（留任）
	〈専門委員会〉
	総務・財務委員会委員長　　佐藤　賢二　（新任）
	競技力向上委員会委員長　　下川　　禎　（新任）
	生涯スポーツ委員会委員長　　半田眞一郎　（留任）
	広報委員会委員長　　関口美惠子　（留任）
	スポーツ医科学委員会委員長　　藤谷　博人　（留任）
	スポーツ少年団本部長　　安倍　正弘　（留任）
	ゴルファー募金活用委員会委員長　　髙橋　　浩　（新任）
	倫理委員会委員長　　泉水　孝子　（新任）
9．6	令和４年度第３回理事会を開催し、鴻義久前会長、堀川博美前副会長、羽田愼司前副会長の顧問就任を承認した。
10．1	第７７回国民体育大会（栃木県）が茨城県で開催（本大会１０/１～１０/１１）
	天皇杯順位　　６ 位（ １６５９.５点）　　皇后杯順位　　８　位（８２０点）
5．　1．28	特別国民体育大会冬季大会が青森県・岩手県で開催（１／２８　～２／２０）
3．10	令和４年度第５回理事会を開催し、令和５年度事業計画（案）及び収支予算（案）を承認した。
3．25	令和４年度臨時評議員会を開催し、令和５年度事業計画（案）及び収支予算（案）を承認した。
6．3	特別国民体育大会関東ブロック大会（埼玉県）６／３　～８／２８
6．9	令和５年度第１回理事会を開催し、令和４年度事業報告（案）及び収支決算（案）を承認した。
6．24	令和５年度定時評議員会を開催し、令和４年度事業報告（案）及び収支決算（案）を承認した。

年　月　日	事　　項
10．　7	特別国民体育大会が鹿児島県で開催（本大会１０/７～１０/１７）
	天皇杯順位　　６　位（ １５３５.５点）　　皇后杯順位　　１２　位（ ７５７点）
１．27	第７８回国民スポーツ大会冬季大会が北海道・山形県で開催（１／２７ ～２／２４）
６．　３．15	令和５年度第４回理事会を開催し、令和６年度事業計画（案）及び収支予算（案）を承認した。
３．30	令和５年度臨時評議員会を開催し、令和６年度事業計画（案）及び収支予算（案）を承認した。
	神奈川県グラウンド・ゴルフ協会の本会脱退が報告された。
６．　1	第７８回国民スポーツ大会関東ブロック大会（山梨県）６／１ ～８／２６
６．13	令和６年度第１回理事会を開催し、令和５年度度事業報告（案）及び収支決算（案）を承認した。
	また、令和６年度から９年度の評議員候補者の推薦を承認した。
６．25	令和６年度第１回評議員選定委員会を開催し、令和６年度から９年度の評議員を選定した。
６．29	令和６年度定時評議員会を開催し、令和５年度事業報告（案）及び収支決算（案）を承認した。
	令和６・７年度役員の選任を行った。
	令和６年度第２回理事会（新役員）を開催し、名誉会長、会長、副会長、専務理事、専門委員会等委員長を選定した。
	新役員（令和６・７年度）
	名誉会長　山下　泰裕
	会　　長　岡田　伸浩（留任）
	副 会 長　泉水　孝子（留任）雨宮　　勝（新任）浅羽　義里（留任）
	専務理事　田中不二夫（留任）
	監　　事　半田真一郎（新任）柏木　雅一（新任）井出ひろみ（留任）
	〈専門委員会〉
	総務・財務委員会委員長　　佐藤　賢二　（留任）
	競技力向上委員会委員長　　下川　　禎　（留任）
	生涯スポーツ委員会委員長　　野田ひろみ　（新任）
	広報委員会委員長　　関口美惠子　（留任）
	スポーツ医科学委員会委員長　　真鍋　知宏　（新任）
	スポーツ少年団本部長　　安倍　正弘　（留任）
	ゴルファー募金活用委員会委員長　　大野　　真　（新任）
	倫理委員会委員長　　泉水　孝子　（留任）